



## 第四五回総選挙の結果

# 自公から民主へ「政権交代」

八月一八日に公示、八月三〇日に投票された第四五回衆議院総選挙は「民主党圧勝」「自民党惨敗」の結果で幕を閉じた。

### 「政権交代」の流れ止まらず

今回の選挙結果は、国民は「民主党に期待した」と言うより、むしろ「自民党にNOを突きつけた」結果と言えるかも知れない。

### 国民は常に「変化」を求める

四年前の総選挙でも、国民は「郵政民営化」「小泉改革路線」を掲げる自民党の「変化」を選択した。しかし、当の自民党は自らを改革することを忘れたのかも知れない。いま自民党に求められるのは、世代交代など思い切った体質改善と、常に国民の目を

意識した党への再生ではないだろうか。

### 民主党に「謙虚さ」を期待

一方、三〇八議席を獲得し大勝した民主党には「常に自分の足元を見つめる謙虚さ」を忘れないでほしい。

現時点では、民主党は政権経験も、政治家としての経験も浅い人の集まりである。国民もそれを承知の上であえて民主党を選択したのである。只ひたすら「国民の幸せのため」に、あまり背伸びをしないで、地に足を着いた堅実な政権運営を望みたいと思う。



新政権に  
国民が幸せを実感できる  
政治を期待します。

### 早くも自治体などで混乱？

新聞報道などによると、民主党が、自公政権が作成した緊急経済対策の補正予算の一部を凍結する方針を明らかにしたことから、早くも直接事業を行う民間団体や地方自治体などでは混乱が生じるところも出ているようだ。

衆議院選挙の結果(大阪12区)

選挙執行年月 (投票率)	2003年11月 (54.81%)	2005年9月 (65.14%)	2009年8月 (66.61%)
樽床 伸二(民主)	当 82,190	87,091	当 119,048
北川 知克(自民)	比 81,270	当 108,903	80,847
西森 洋一(共産)	21,023	-	-
太田久美子(共産)	-	23,595	-
重田 初江(共産)	-	-	19,053
宮崎 麻美(幸福)	-	-	4,894

当=小選挙区で当選 比=比例区で当選

### 山さんのコラム

## トイレ掃除は心磨き

先日、新聞に「いま学校でトイレ掃除を通じて、子供らに『豊かな心』を育もうという取り組みが広がっている」というの記事があった。

この記事によると、これまで学校のトイレ掃除は用務員さんや業者に委託していたところが多かったそうである。

いま愛知県を中心に、学校の先生方で作る「便教会」という組織があり、「道徳の教科書を読んだだけでは分からないことを体感できる。トイレ掃除は生きた教材だ」と強調する。そして「人が一番嫌がるトイレ掃除を率先してやれば、謙虚な気持ちになり、心が磨かれる」と説く。

進んでトイレ掃除をすれば、自然に感謝の気持ちが生まれるのかもしれない。

私も、せめて我が家のトイレくらいは時々掃除しなければと思った次第である。